

第94期

中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

Contents

トップメッセージ	1
業績ハイライト	2
セグメント情報	3
財務情報	4
TOPICS/CSR情報	5
会社概要/株式の状況/	裏表紙
株式についてのご案内	



SANDEN

Delivering Excellence

サンデンホールディングス株式会社

証券コード：6444





■ 上半期を振り返って

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第94期中間報告書（2019年4月1日から2019年9月30日）をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当社グループは、2023年度を最終年度とする中期経営計画（名称：SCOPE2023）を達成するために「生産体制の抜本的見直し」、「基盤収益力の向上」、「積極的な『協創』による成長」、「資産改革によるキャッシュフロー創出」、「実行のための仕組み改革」の5つの改革プランに日々取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の世界経済及び日本経済は、米中貿易摩擦の一層の激化や中国経済の減速、欧州における英国の欧州連合（EU）離脱問題の長期化、インド地域の成長鈍化等、景気の先行きに不透明性が高まり、製造業の減速感も高まっております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、流通システム事業の販売増があるものの、中国市場等海外を中心とした自動車販売の減速等の影響を受け、127,988百万円（前年同期比6.9%減）となりました。損益につきましては、自動車事業の減収の影響はありましたが、流通事業の増収影響、全社的な収益性向上に向けたコスト改善活動の取り組みにより、営業利益は148百万円（前年同期比88.7%増）、経常損失は2,676百万円（前年同期は経常損失463百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、当期及び今後の業績見通し等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上することとし、1,778百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,184百万円）となりました。

当社は、当社の連結子会社であるサンデン・リテールシステム株式会社（以下「SDRS」といいます。）の発行済株式の全て及び当社がSDRSに対して保有する貸付債権を、インテグラル株式会社（以下「ITG」といいます。）が運営する関連事業体の出資により組成されたSDRSホールディングス株式会社（以下「譲受会社」といいます。）に譲渡（以下

「本件譲渡」といいます。) するため、譲受会社との間で株式及び債権譲渡契約 (以下「本件譲渡契約」といいます。) を締結し、2019年10月1日付で、本件譲渡手続きが完了しました。

SDRSの譲渡、ならびに当社を取り巻く事業環境の変化を受け、期初計画していた通期業績予想を売上高2,150億円、営業利益5億円、経常利益△40億円、親会社株主に帰属する当期純利益90億円に修正いたしました。

現在自動車業界は100年に1度の大変革期と言われています。自動車市場も大きく変化する中、当社の役割はますます重要になってきます。当社が目指すのは統合熱マネジメントシステムを提供する企業です。この統合熱マネジメントシステムとは、車の性能を大きく左右する重要な役割を担っています。人体に例えるのなら、脳や心臓といった重要なものを統合するのが私たちの技術です。今の大きな変化は当社にとってはチャンスでもあります。統合熱マネジメントシステムを通じて、大きな変化を作り出してまいります。

今後ともより一層の社業の発展に精励いたす所存でございますので、何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

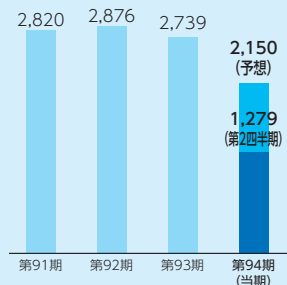
2019年12月

代表取締役 社長執行役員 **西 勝也**

◆業績ハイライト

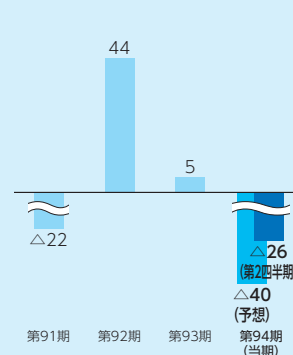
売上高

1,279億円 (連結)
(前年同期比6.9%減)
(単位:億円)



経常利益

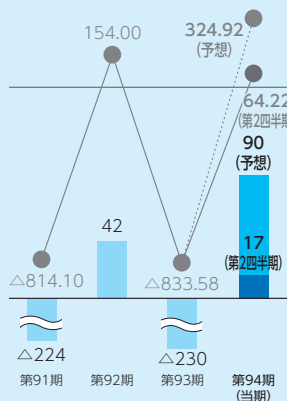
△26億円 (連結)
(単位:億円)



親会社株主に帰属する当期純利益

17億円 (連結)
(単位:億円)

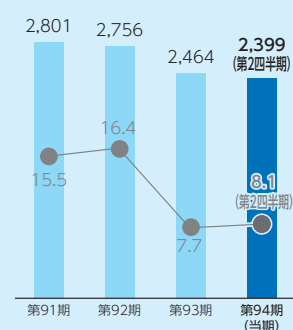
● 1株当たり当期純利益 (単位:円)



総資産

2,399億円 (連結)
(単位:億円)

● 自己資本比率 (単位:%)



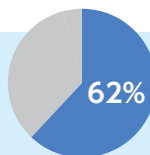
※1 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等を第1四半期連結会計期間の期初から適用しており、2018年3月期については遡及適用後の数値を記載しております。
 ※2 当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。
 前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。
 ※3 「総資産」「自己資本比率」の期末予想は公表しておりません。

セグメント情報



自動車機器事業

売上高構成比率



地球と人にやさしい次世代の空調システムを追求しています。サンデングループのカーエアコンシステム製品は、自動車の電動化ニーズにもいち早く対応し、世界中の自動車メーカーや建機・農機メーカーに採用されています。

売上高 **79,628**百万円
(前年同期比20.6%減)

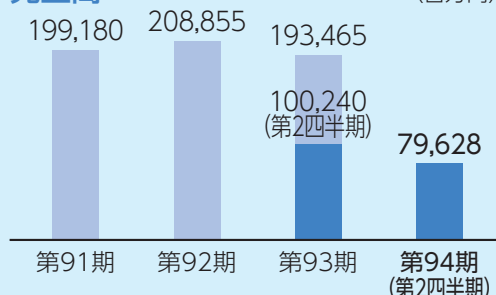
営業利益 **△2,244**百万円
(前年同期は営業利益1,459百万円)

POINT

自動車機器事業においては、顧客の環境指向を的確に捉えた最先端の商品開発を進め、小型・軽量化、省動力化を軸に価値ある製品を提供してまいりました。しかしながら、世界的な自動車市場の減速影響を受けた主要顧客の需要減により、売上高は前年同期に比べ減収となりました。

利益については、原価低減や更なる費用見直しを進めましたが、急激な販売減により、前年同期に比べ減益となりました。

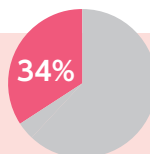
売上高



主な製品



売上高構成比率



流通システム事業

売上高 **43,196**百万円
(前年同期比33.9%増)

営業利益 **2,439**百万円
(前年同期は営業損失1,083百万円)

店舗システム事業においては、顧客の成長戦略及び環境指向に対応した製品・システム・サービスのトータルな提案・提供を継続してまいりました。売上高はコンビニエンスストアの新規出店の鈍化はあるものの、国内店舗システムにおけるコーヒーマシーンの新規納入等により前年同期に比べ増収となりました。

コールドチェーン事業においては、国内自動販売機市場の伸び悩みがあるものの、積極的な新製品の展開また環境製品の開発や産地から店舗までを繋ぐ新サービスの提案によるビジネス拡大を図り、売上高は前年同期に比べ増収となりました。

その他事業 売上高構成比率4% 売上高5,163百万円 (前年同期比4%増)、営業利益△46百万円 (前年同期は営業利益△297百万円)

冷凍および冷蔵ショーケース、自動販売機、コーヒーマシーンの流通システム事業は、2019年10月1日をもってSDRSホールディングス株式会社へ譲渡しました。

財務情報

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2019年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	124,247	138,412
固定資産	115,655	107,988
有形固定資産	78,525	77,436
無形固定資産	4,404	4,078
投資その他の資産	32,724	26,473
資産合計	239,902	246,401
負債の部		
流動負債	159,813	156,710
固定負債	56,724	66,151
負債合計	216,537	222,862
純資産の部		
株主資本	26,127	24,225
資本金	11,037	11,037
資本剰余金	3,579	3,579
利益剰余金	12,263	10,484
自己株式	△753	△877
その他の包括利益累計額	△6,754	△5,265
非支配株主持分	3,992	4,579
純資産合計	23,364	23,538
負債純資産合計	239,902	246,401

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 2019年4月1日～ 2019年9月30日	前第2四半期累計 2018年4月1日～ 2018年9月30日
売上高	127,988	137,474
売上総利益	22,656	23,402
営業利益	148	78
経常損失(△)	△2,676	△463
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,322	△562
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,360	△1,356
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△418	△171
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,778	△1,184

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 2019年4月1日～ 2019年9月30日	前第2四半期累計 2018年4月1日～ 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,875	△740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,227	△5,018
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,783	8,010
現金及び現金同等物に係る換算差額	△302	70
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,438	2,321
現金及び現金同等物の期首残高	13,030	18,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,591	21,097

サンデンホールディングス株式会社

日本電産と電気自動車向け熱マネジメントシステムの共同開発開始（日本）

サンデンホールディングス株式会社は、日本電産株式会社と協業による研究開発を開始致しました。今後、自動車は内燃エンジン車から電気自動車への移行が予想されていますが、電気自動車の課題の一つとして航続距離の短さが挙げられます。また、空調等の電装品の使用は、航続距離に大きな影響を与えます。この課題に対し、当社の冷熱技術と日本電産株式会社のトラクションモーターおよびインバーター知見を合わせ、将来の電動車両向けの航続距離を伸ばす、空調と駆動装置の統合的な熱マネジメントシステムの開発および商品化を行います。



サンデン・アドバンステクノロジー株式会社

レース用電気自動車にリチウムイオンバッテリー温度管理システムの提供（日本）



サンデン・アドバンステクノロジー株式会社は、2019年6月に、「パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム EVチャレンジ」に参戦する株式会社ゼロイースクエアに協賛しました。本大会に使用される電気自動車に対して当社は、「レース用リチウムイオンバッテリー温度管理システム」を提供し、過酷な使用条件における電気自動車データの取得と解析を繰り返し行いました。この解析結果を活かし、次期熱マネジメントシステムの開発、商品力向上に繋がります。

サンデン・オートモーティブクライメイトシステム株式会社

中国初 電気自動車向けヒートポンプシステム本格展開（中国）

中国自動車市場シェアNo.1の上海汽車の電気自動車ROEWE MARVEL XとEi5向けに、カーエアコン用ヒートポンプシステムの本格的な市場展開を、電動車市場世界最大規模である中国で開始しました。このシステムの特徴は、年間を通じて冷暖房時のエネルギー消費効率のバランスがとれており、業界トップクラスの性能を有しています。地球規模での環境意識の高まりと各国の環境規制により、自動車業界は電動化へのシフトを益々加速させていますが、電気自動車の大きな課題の1つは航続距離です。この製品により、航続距離の延伸に貢献してまいります。



サンデン・オートモーティブコンポーネント株式会社

サンデン ベトナムテクニカルセンター設立 (ベトナム)

サンデン・オートモーティブコンポーネント株式会社は、ベトナムホーチミン市に、設計支援業務をメインに行う「サンデン ベトナムテクニカルセンター」を設立しました。グローバルにおけるさらなる開発力強化と、技術開発の継承、人材育成を強化するため、当センターでは、主にCAD製図、CAEといった開発インフラ業務を一括して請け負います。グローバル垂直分業を構築することで、電気自動車向け電動コンプレッサーの先行開発への開発リソースシフト、開発体制のさらなる強化を加速させます。また現地ベトナムの大学とも連携し、技術指導を行うと共に、人材交流を通じてベトナムの更なる発展に貢献します。



サンデン・ビジネスアソシエイト株式会社

品質管理活動の邁進 (日本)



サンデン・ビジネスエキスパート株式会社（現サンデン・ビジネスアソシエイト株式会社）の小集団サークル「SMASH HIT」が、第6120回QCサークル全国大会で表彰され、石川馨奨励賞を受賞しました。本賞はQCサークル活動において栄誉ある賞で、サンデングループの間接部門では初受賞となります。サンデングループは、顧客の信頼と期待に応えるよう、これからも全社による品質管理活動を邁進してまいります。

サンデンホールディングス株式会社

サンデンブルーエコアーズの邁進



実業団バレーボールチームのサンデンブルーエコアーズは、第63回関東9人制バレーボール実業団男女選手権大会で初優勝を勝ち取りました。チームメンバーは日々のトレーニングに励み、試合に力を入れるだけでなく、東日本大震災復興支援事業の一環として小中学生向けバレーボール教室の主催や、地域清掃活動への参加なども積極的に行っています。



会社概要 (2019年9月30日現在)

商号 サンデンホールディングス株式会社
東京本社 東京都千代田区外神田一丁目18番13号
秋葉原ダイビル
TEL. 03-5209-3231
本社 群馬県伊勢崎市寿町20番地
TEL. 0270-24-1211
設立 1943年7月30日
資本金 11,037百万円

取締役・監査役

代表取締役 社長執行役員	西 勝也	取締役 (社外)	尾崎 英外
代表取締役 副社長執行役員	伊東 次夫	取締役 (社外)	木村 尚敬
取締役 副社長執行役員	マーク ウルフィグ	取締役 (社外)	牛山 雄造
取締役 常務執行役員	小林 英幸	常勤監査役	市川 伸司
取締役 常務執行役員	高橋 博史	監査役 (社外)	四方 浩
取締役 執行役員	秋間 透	監査役 (社外)	湯本 一郎
		監査役 (社外)	松本 和道

株式の状況 (2019年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 79,200,000株
- 発行済株式総数 28,066,313株
- 株主数 10,789名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
サンデン取引先持株会	1,762千株	6.28 %
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND (常任代理人株式会社三菱UFJ銀行)	1,703	6.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) ...	1,328	4.74
株式会社みずほ銀行	1,017	3.63
株式会社群馬銀行	1,017	3.63
大同生命保険株式会社	694	2.47
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人シティバンク、エヌ・エイ東京支店) ...	691	2.47
サンデン従業員持株会	675	2.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5) ...	511	1.82
BNVM SA / NV FOR BNVM FOR BNVM GCM CLIENT ACCTS MILM FE (常任代理人株式会社三菱UFJ銀行)	386	1.38

(注) 持株比率は自己株式(12,300株)を控除して計算しております。

株式についてのご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

上場証券取引所 東京証券取引所

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページ
(<https://www.sanden.co.jp>) に掲載する。
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および上毛新聞に掲載する。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネット
ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお届けおよびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届けは、上記の電話照会先をお願いいたします。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

